

大切な人と一緒に受ければ安心。 夫婦で人間ドックへ行ってきました！

人間ドックを夫婦で受けるペア受診が注目を集めています。夫婦での受診は、互いの健康状態を客観的に把握できるうえ、健康について考えたり、話し合ったりする機会が増え、コミュニケーションも深まるなど、いいことづくめ。2人がずっと健康でいるために、毎年のイベントとしておすすめ。今回は、人間ドックをペア受診されたご夫婦の様子をレポートします。

体験いただいたご夫婦はこちら！



吉田 公二さん(37歳)・匡美さん(35歳)
ご夫妻

ご主人は3回目、
奥様は人間ドック初体験！

結婚5年目、2歳の男の子がいらっしゃる吉田さん夫妻。今回、奥様が人間ドック受診対象年齢に達したことから、お2人での受診となりました。初めての体験に緊張気味の奥様を、ご主人が優しくエスコート。なかなか受診のきっかけがつかめなかったり、休みが取りにくかったりしても、夫婦ならばサポートし合えて心強いですね。

〈ご協力いただいた病院〉



今回ご協力いただいたのは、新宿追分クリニック。新宿三丁目駅から徒歩1分のアクセスのよさで、健診後は食事やショッピングも楽しめそうです。

INSPECTION CONTENTS 1

胃がん検査

胃カメラを体験しました！

(胃内視鏡検査)

胃内視鏡検査は、口から胃カメラを入れる経口検査と、鼻から入れる経鼻検査の2種類があります。いずれの場合も検査前に名前の確認と同意書へサインし、胃内部の泡を消す消泡剤を飲みます。



思った以上に時間が短く、あっという間に終わりました。

今までの検査時と同様、口からの検査を選択しました。凍らせた麻酔薬を口に含んでのどに麻酔をかけ、少し時間をおいてから内視鏡を入れます。挿入時はドクターが優しく声をかけ続けてくれましたし、違和感も少なく涙はほとんど出ませんでした。(公二さん)



不安を言葉で伝えられるのが心強い。

初めての胃内視鏡検査のため、違和感の少ない鼻からの検査を選択。検査前には両方の鼻の穴の太さ・管の通り具合を調べ、左右どちらに挿入するかを決めて鼻腔に麻酔を吹きつけます。鼻からの挿入だと嘔吐感が少なく、また、口がふさがらず、話のできたので安心でした。(匡美さん)

INSPECTION CONTENTS 2

肺がん検査

(胸部CT検査)※オプション



最新型のマルチスライスCTで肺をチェック

喫煙の習慣はありませんが、今年度から補助対象年齢が35歳以上になったこともあり、肺がん検査を受けました。検査機の開口部が広くて圧迫感が少なく、音も気になりませんでした。この検査は、胸部X線検査では見えない小さな病変を見つけることができるということで頼もしい限りです。(公二さん)

INSPECTION CONTENTS 4

診察



疑問や心配ごとを全部聞いて解決！

健診結果の説明に加えて、食生活・身体の変異・注意すべき病気など具体的なアドバイスを一緒に聞くことができました。医師に、直接気になる点を聞けたのも良かったです。この経験を活かし、今後、2人で一緒に健康維持・生活改善に取り組んでいきます！(匡美さん)

INSPECTION CONTENTS 3

乳がん検査

(マンモグラフィ検査)※オプション



3Dマンモグラフィで高画質に撮影

子どもの授乳期が終わったためマンモグラフィ検査を受けました。じつはマンモは2回目。今回は最新の3Dマンモグラフィで撮影角度を変えて複数の方向から撮影するため、隠れた小さなしこりや石灰化がわかりやすいという話でした。以前の痛かった記憶がよみがえりましたが、女性技師の方が絶えず声をかけてくれたので不安が和らぎ安心して受けることができました。(匡美さん)

健診を終えてカフェでひと息…



2人で受診するにあたり、家で互いの健康について話し合う機会が増えました。(公二さん)

小さい子どもがいるからこそ、健康でいられるよう、今後も年に1度、夫婦で受診したいですね。きれいな設備と素敵なカフェでお茶もできて、おトクな気分でした。(匡美さん)

この後、お2人はランチに行かれたそうです！夫婦で受けると、こんな楽しみもついでにきますね♪

日立健保の人間ドックの検査項目は、以下になります。

- 身体計測 ○胃がん検査
- 循環器検査 ○腹部検査
- 眼科検査 ○採血検査
- 聴力検査 ○尿検査
- 呼吸器検査 ○大腸がん検査

※健診機関との契約により、検査項目の追加(または不足)がある場合があります。
※健診機関によって、実施方法は異なります。(全受診者に実施、希望者のみ実施、医師の判断により実施等)



ドクターご紹介
新宿追分クリニック
所長
春日郁馬 医師

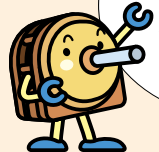
女性フロアも完備。
夫婦での受診も増えています。

当院は、交通アクセスのよさと落ち着いた雰囲気でお迎えするとともに、医師の読影精度やスタッフの接遇レベル、プライバシー管理の徹底などにも細心の注意を払い、多様な方々に対応しています。もちろん万が一の場合は提携医療機関をご紹介。アフターフォローも万全です。

特定保健指導 をご存知ですか？

特定保健指導とは、増え続けるメタボ対象者の減少をめざして国が2008年からスタートしたプログラムです。保健師・管理栄養士などの専門スタッフから生活習慣の改善に役立つアドバイスをもらいながら、二人三脚で取り組む減量プログラム(※)です。対象になった方は、ぜひ活用しましょう。

(※)3ヶ月～6ヶ月間のプログラム



P.22～23の
「胃がん」をテーマにした
辻先生のコラムも
見てね！